

# 地域でバンドを育てる

開成ジュニアアンサンブルの  
これまでとこれから

プレゼンター 本澤 なおゆき



## 八丈島遠征 2016年8月27~29日





ブルーバース



交流タイム！意外と積極的なブルーバースの子たち

# 石巻・仙台演奏旅行

2019年9月7～8日

本澤先生の指揮、3団体合同で「カメレオン」を合奏

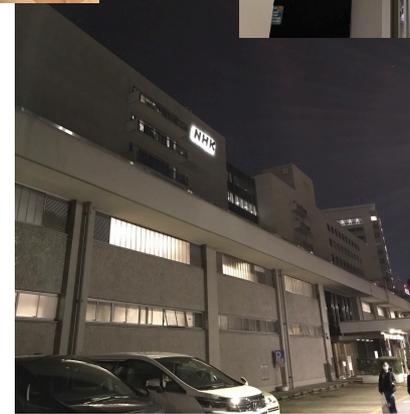
震災当時多くの方が避難した日和山公園まで歩きました





仙台市に移動し、1590人収容の東京エレクトロンホール宮城で本番です。仙台で「東北民謡メドレー」を演奏すると、指揮をされていて思わず感動します。





## 連続テレビ小説「おかえりモネ」に撮影協力

(2021年2月11日 NHK放送センター)

6月3日放送。主人公モネの子ども時代の回想シーンのジュニアジャズバンド役としてドラマに登場しました。

ほんざわ なおゆき

# 本澤 尚之

1971年生まれ、那須塩原市出身

東北大学工学部卒業

バークリー音楽大学ジャズ作曲科卒業

アレンジャー（株式会社ミュージックエイト）

筆名：本澤なおゆき

気象予報士（No.4095）

開成町教育委員（2018年4月～）

開成町文化団体連絡協議会会長（2021年4月～）

開成ジュニアアンサンブル代表

大学1年生と3年生の娘がいる



Photo by Ami Hirabayashi

# 本日の流れ

1. 開成ジュニアアンサンブルの**概要**
2. 年間のおもな活動
3. バンド結成のいきさつ
4. 開成ジュニアアンサンブルの**これまで**
5. 地域の小学生バンドの**事例集**
6. **部活動の地域移行と社会教育**
7. 開成ジュニアアンサンブルの**これから**

# 1. 開成ジュニアアンサンブルの概要

神奈川県西湘地区を中心にジャズの教育・演奏活動をする団体です

小学生・中学生・高校生のために、ビッグバンドという音楽形態で、合奏の楽しさや、仲間と音楽に打ち込むことの喜びと感動を味わいながら、協調性や集中力を育てていく音楽的情操教育と、特色ある地域音楽文化の醸成の2つを目標に掲げ、2011年4月に結成されました。

地域に愛される楽団として、代表・本澤尚之をはじめとする地元音楽家による指導のもと、開成町立開成南小学校の音楽室を拠点に毎週木・土曜日に練習しています。



開成ジュニアアンサンブル

# 開成ジュニアアンサンブルの概要

団体名	開成ジュニアアンサンブル
設 立	2011年4月7日
所 属	開成町文化団体連絡協議会、南足柄地区演奏団体連盟 日本ステューデントジャズ教育協会
代表者	本澤 尚之
対 象	神奈川県開成町および近隣の市町に居住する小学4年生から高校3年生まで
会員数	小学生バンド <b>ブルーバース</b> 25名 中高生バンド <b>スーパーブルーバース</b> 37名 育成会員 55名 技術委員 5名 (2022年6月現在)
練習日 (小学生)	<b>毎週木・土曜日 午後5:00～7:00</b>
練習会場	開成町立開成南小学校 多目的ホール
団 費	月額2,500円
年間活動 (小学生)	5月 記録会／8月 夏合宿／11月 かいせい文化祭／ 12月 クリスマスコンサート／3月 スプリングコンサート 他
使用楽器	サクソス (アルト・テナー・バリトン)、トランペット、トロンボーン ピアノ、ギター、ベース、ドラム、パーカッション 他

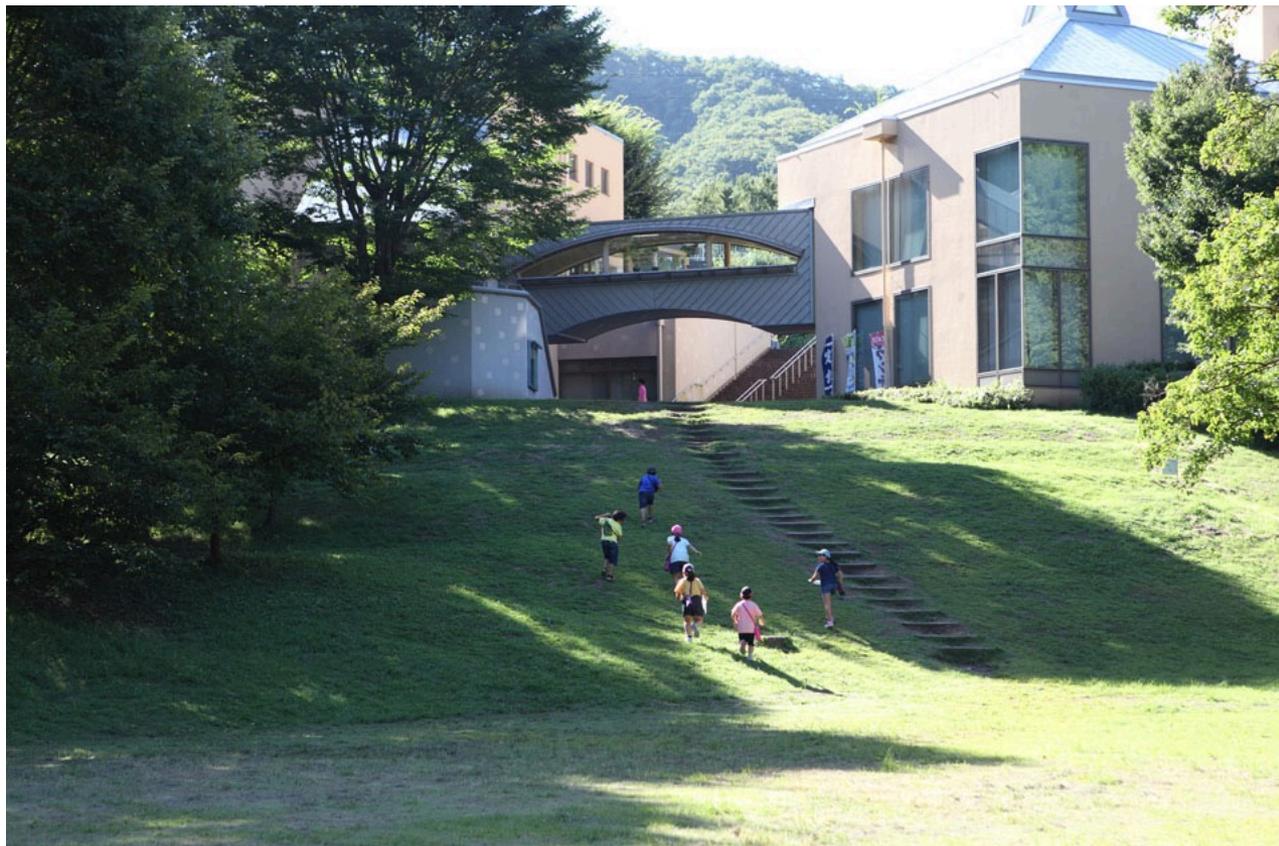
## 2. 年間のおもな活動



### 新人のための記録会（5月）

4月に楽器を始めたばかりの新人たちが、1人1曲を団員や保護者の前でソロ演奏し、その様子を録画するイベントです。「発表会ではないので、つかかえてもやり直していいです。」と伝えていますが、それでも新人たちは自分の曲を一生懸命練習するため、上達が早まります。卒団する時に、今回記録したものを上映し、同じ曲を再び演奏してもらうことになります。

# 年間のおもな活動



## 夏合宿（8月）

豊かな緑に囲まれた神奈川県立藤野芸術の家（相模原市）にて、一泊二日の夏合宿を行っています。楽器がうまくなること、仲良くなること、夏休みの思い出を作ることの3つの目標を掲げて毎年行っている合宿。8月から3月までの演奏会シーズンに向けて、チームワークの確立やバンド全体のパワーアップには欠かせない行事です。

開成ジュニアアンサンブル

# 年間のおもな活動



## かいせい文化祭 (11月)

地元、開成の温かい声援のもと、毎年楽しく演奏することができる町の文化祭。器楽合奏で参加した  
設立当初は、観客と一緒に「上を向いて歩こう」を歌い、会場を盛り上げました。

# 年間のおもな活動



## クリスマスコンサート (12月)

団員とその家族を対象に毎年開催されている音楽会。各パートによるアンサンブル、全員による合奏などを楽しみ練習し、各パート内の団結を深めると共にアンサンブルする力を身に付けていきます。後半は保護者役員が用意してくださったゲームで盛り上がります。

開成ジュニアアンサンブル

# 年間のおもな活動



## スプリングJazzコンサート（3月）

1年間の集大成のコンサート。日頃の練習の成果を単に発表するだけでなく、さまざまな工夫を凝らした企画で「子供も大人も楽しめる演奏会」を目指し、毎年3月に開催しています。司会やクイズコーナーなど、自分達で考え形にしていく過程、そして観客を感動させるために演奏の完成度を上げていく過程で、団員達はたくましく成長していきます。

開成ジュニアアンサンブル

# 年間のおもな活動



## 卒団を送る会（3月）

卒団していく6年生には、楽器を手にしたばかりの頃の記録会の映像を上映し、同じ曲を実際にソロで演奏してもらいます。楽器の技術も表現力も向上していて、毎年感動させられる瞬間です。そしてお互いの顔が見えるように輪になって行う記念合奏は、心に残る最後の合奏となります。



**記録会 → 卒団生を送る会 のソロ演奏の例**

(2019年6月1日 → 2022年3月27日 撮影)

開成ジュニアアンサンブル

# 3. バンド結成のいきさつ

- 2010年4月 児童の増加に伴い開成南小学校が開校
- 2011年4月 **学校施設の一般開放**制度を利用して、**器楽合奏団**として結成
- 初期メンバーは小学2～5年生 **10名**  
現在は小学4年生～高校3年生 **62名**



開成ジュニアアンサンブル



結成1年目の初コンサートの様子 (2011年8月)

使用楽譜：M8 やさしい器楽「**八木節**」

開成ジュニアアンサンブル

# 結成理由

小学生が仲間と楽器演奏  
に打ち込める場所が、  
**この地域になかったから**

埼玉県・千葉県・栃木県・東京都・  
長野県・秋田県など 小学校の**金管バンドクラブ**や  
**吹奏楽クラブ**が盛んな地域は多い



## 管楽合奏の利点

1. 心身の**成長**と共に楽器が**上達**する
2. 合奏（ユニゾン、ハーモニー）で**協調性**が生まれる
3. ソロを演奏する先輩への**憧れ**が上達を後押しする

# 練習タイムスケジュールの例

7月7日（木） 17:00～19:20 開成南小学校 多目的ホール・第1音楽室  
ブルーバース通常練習

- 17:00～17:10 合奏準備
- 17:10～17:15 ミーティング（出欠、レッスンノート集め、楽譜配布）
- 17:15～17:50 セクション練習
- 17:15 デイリートレーニング2・3・4
  - 17:30 イン・ザ・ムード譜読みなど
- 17:50～18:40 合奏
- 17:50 リレーチューニング
  - 18:00 よろこびのうた（合奏の種）
  - 18:05 イン・ザ・ムード
  - 18:15 アメージング・グレース
  - 18:20 パレットガーデン賛歌
  - 18:30 ロコモーション
  - 18:35 テキーラ
- 18:40～18:55 後片付け・解散
- 18:55～19:20 掃除・消毒



開成ジュニアアンサンブル



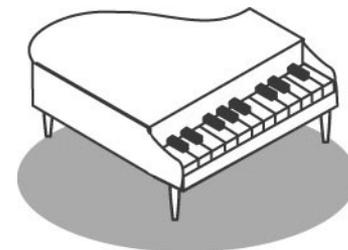
## 小学生バンド“Blue Birds”の練習風景

(2022年6月4日撮影)

開成ジュニアアンサンブル

# ビッグバンド移行の経緯

2011年 リコーダーなどを用いた  
**器楽合奏団**として活動開始



吹奏楽・金管バンド・ビッグバンドを比較検討

2012年 **ビッグバンド**に移行



## なぜビッグバンドなのか

- **少ない人数**でも合奏ができる（14名～）
- **保管場所の確保**や**運搬**が困難なバスドラムやティンパニ、チューバなどの**大型楽器**が**必要ない**

# なぜジャズなのか

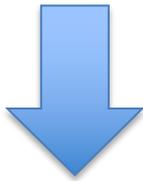


自分らしい表現を**主体的に考える力**がつく

メロディに**ジャズ・フィーリング**を自由に付加できる音楽である

ソロで**自己主張する力**がつく

**即興演奏（アドリブ）**で自己表現ができる



**現代の教育課題**

**にも通じる**

**主体的・対話的で深い学び**

SOLO (2ND X)  
EMI AMI<sup>9</sup>  
F13 GMA<sup>7</sup> F#+7#9 B+7b9  
F#+M1<sup>7</sup> B7 AMI<sup>7</sup>



## ジャズ・フィーリングの実践例 (小学生)

(2019年1月13日撮影)

開成ジュニアアンサンブル



## ジャズ・フィーリングの実践例（中高生）

（2022年7月16日撮影）

開成ジュニアアンサンブル

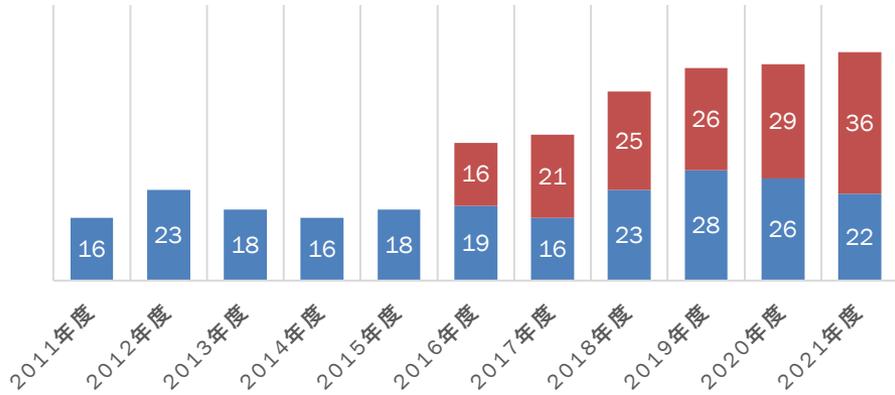
# 4. 開成ジュニアアンサンブルのこれまで

2011年4月	<b>小学生器楽合奏団として開成町に発足</b>
2012年4月	<b>ビッグバンドに転向</b>
2014年4月	<b>開成町の近隣市町へと対象を拡げる</b>
2015年9月	宮城県に遠征し、石巻ジュニアジャズオーケストラと交流
2016年1月	第25回スチューデントジャズフェスティバルでJAJE会長賞を受賞
2016年4月	<b>中高生ビッグバンドを新設</b>
2016年8月	八丈島ジャズフェスティバル2016に参加
2016年10月	第25回ハママツジャズウィーク スチューデントジャズフェスティバルに東日本代表として出演
2017年1月	開成町 芸術文化スポーツ奨励賞を受賞
2019年8月	第2回スチューデントジャズコンテストでJAJE会長賞を受賞
2019年9月	宮城県に遠征し、石巻ジュニアジャズオーケストラと交流
2019年10月	第28回ハママツジャズウィーク スチューデントジャズフェスティバルに東日本代表として出演
2020年1月	開成町 芸術文化スポーツ奨励賞を受賞
2022年1月	第30回スチューデントジャズフェスティバルで理事長賞を受賞

# 団員数・事業規模の推移

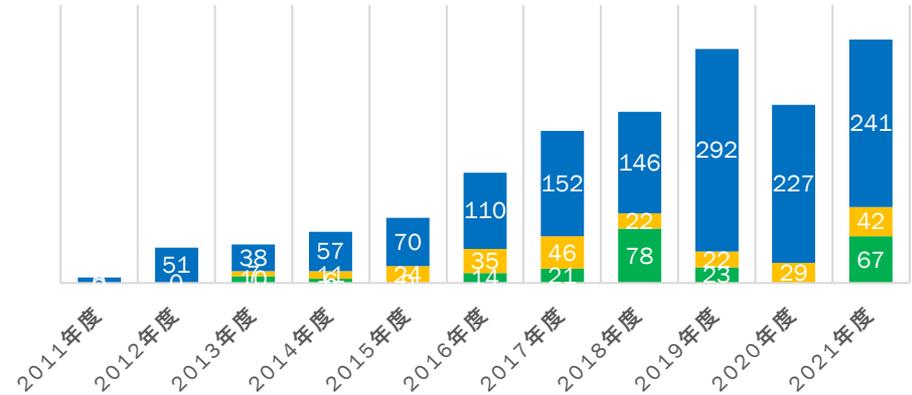
## 団員数の推移

■小学生人数 ■中高生人数



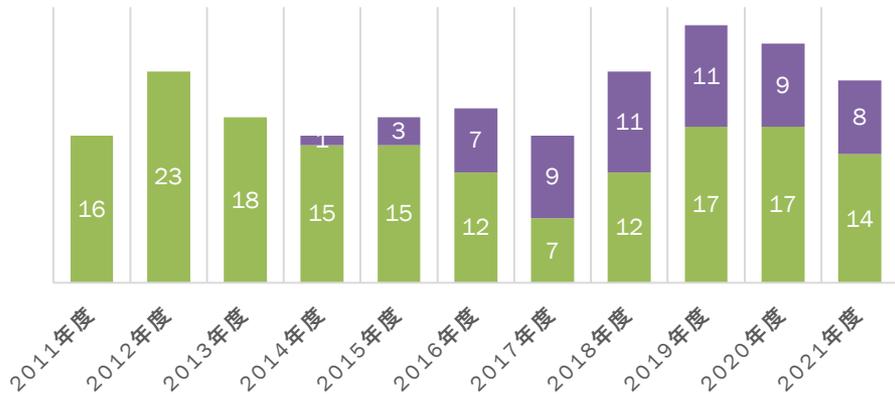
## 決算額の推移（万円）

■助成金 ■賛助会費 ■助成金を除いた決算額

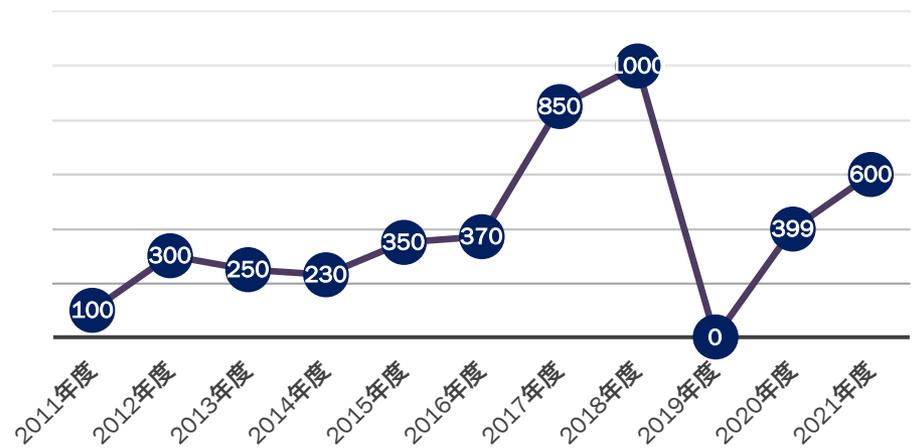


## 町内外の割合の推移（小学生）

■町内 ■町外



## 3月公演の動員数



# 保有楽器数の推移

- 管楽合奏スタート時の2012年に、隣の町の小学校で使われていなかったTrp. Trb.、ミュージックエイトの社内に眠っていたT.Sax. Trb.を借りてメンテナンス
- ドラムセット、エレキベースを団費で購入
- その後は、毎年少しずつ補充

年度	借用楽器	保有楽器
2011年度	B.D., Glock.	S.D.
2012年度	<b>Trp.3, Trb.5, T.Sax.1</b>	<b>Trp.1, E.B.1, Drs.</b>
2013年度	A.Sax.1, Trp.3, Trb.5, T.Sax.1	A.Sax.1, Trp.1, E.B.1, Drs.
2014年度	A.Sax.1, Trp.3, Trb.5, T.Sax.1	A.Sax.1, T.Sax.1, Trp.1, E.B.1, Drs.
2015年度	A.Sax.1, Trp.3, Trb.5, T.Sax.1	A.Sax.1, T.Sax.1, B.Sax.1, Trp.1, E.B.1, Drs.
2016年度	A.Sax.1, Trp.4, Trb.5, T.Sax.1, St.B.1	A.Sax.1, T.Sax.1, B.Sax.1, Trp.1, E.B.2, Drs.
2017年度	A.Sax.2, Trp.4, Trb.6, T.Sax.2, St.B.1	A.Sax.1, T.Sax.1, B.Sax.1, Trp.2, B.Trb.1, E.B.2, Drs.
2018年度	A.Sax.2, Trp.4, Trb.6, T.Sax.2, St.B.1	A.Sax.1, T.Sax.1, B.Sax.2, Trp.2, Trb.1, B.Trb.1, E.B.2, Drs.
2019年度	A.Sax.2, Trp.4, Trb.7, T.Sax.2, St.B.1	A.Sax.1, T.Sax.1, B.Sax.2, Trp.2, Trb.1, B.Trb.1, E.B.3, Drs.
2020年度	A.Sax.2, Trp.6, Trb.7, T.Sax.2, St.B.1, E.B.1	A.Sax.1, T.Sax.1, B.Sax.2, Trp.2, Flghrn.1, Trb.1, B.Trb.1, E.B.3, Drs.
2021年度	A.Sax.3, Trp.6, Trb.7, T.Sax.2, St.B.1, E.B.1	A.Sax.1, T.Sax.1, B.Sax.3, Trp.2, Flghrn.1, Trb.1, B.Trb.1, E.B.3, Drs.

# 5. 地域の小学生バンドの事例集

## 伊豆ジュニアブラス

主な指導者	監物孝恭 先生 (小学校教諭、東日本小管研理事)
団員数 (2022年現在)	56人
編成	金管バンド
対象	小3~小6
設立	2014年
活動地域	静岡県東部 三島・田方・駿東地区
練習場所	三島市立錦田小学校
練習時間	月2回程度 第1・3土曜 (13:15~16:00)
主な費用 (月額、年額など)	月額1000円 他にユニフォーム代、保険、卒団時の楽器メンテナンス代を別途徴収。
管楽器の 保管場所	管楽器は、今はバンド活動をしていない近隣の小学校より借用。当時楽器店に勤務していた指導スタッフを中心にメンテナンスを実施。管楽器は個々に貸与。自宅で保管。打楽器も、打楽器の団員が分担して持ち帰る。
大型楽器の 保管場所	指導スタッフが勤務する会社の空き部屋を楽器倉庫として借用。月額約3300円。広さ20m程度。
送迎	保護者による送迎 団員は保険に加入



開成ジュニアアンサンブル

# 地域の小学生バンドの事例集 (1)

## 伊豆ジュニアブラス

### 成り立ち

2014年9月「管楽器に親しみ、音楽を楽しむ」ことを目的に結成し、**大人から子どもたちへ伝えながら生涯学習を見据えた活動**をしています。現在のメンバーは**小学生56人、中高生サポーター17人、指導ボランティアスタッフ18人**。楽器は、近隣学校で今は使われていない管楽器を再生させてそろえています。月2回の練習のほか、これまでに静岡県小学校管楽器合奏フェスティバル、三嶋大祭り ブラスステージなど様々な場面で演奏してきました。2023年2月には、東京都府中の森芸術劇場ホールで行われる「全日本小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会」に静岡県代表として出場が決定しています。

### 課題に感じている点

現在のところ、順調に活動できていますので、課題はありません。**指導スタッフも、保護者による後援会も、体制がしっかりとしてきたので**問題はありません。

しいて言えば、新入団員のパート希望に偏りがあるので、パートの編成に苦労することでしょうか。どこのバンドにもある悩みですね。

今は、コロナ禍での練習場所の確保に苦労することはあります。

# 地域の小学生バンドの事例集 (1)

2018年の資料より

## 社会とつながる管楽器教育の実践

指導リーダー (伊豆の国市立長岡南小学校) 監物孝恭

### Izu Junior Brass 伊豆ジュニアブラス 子どもたちに管楽器を! ~設立から実践まで~

#### 《設立の理由》

- 伊豆市立八岳小の統廃合に伴い、伊豆半島の小学校に小学生のバンドがなくなった。  
(下田吹奏楽団の下部組織である下田ジュニアブラスのみ活動)
- 三島、田方地区の小学生にも管楽器体験の場を提供したい。
- 各学校が以前活動していたときの管楽器が、使わずに楽器庫に数多く眠っている。

#### 《設立までの経緯 (2014年)》

2月		県東部の吹奏楽関係者の会合で、小学生バンド設立が話題に。
4月	第1回会合 出席者6人	・小学生の金管バンドを設立する方向で話し合う。 ・「三島・田方管楽器教育研究会」発足。 《教員(小・中・高、元)、市議会議員、楽器店員》
5月		・各学校に眠っている金管楽器を借用できるよう行政への働きかけを行う。 ・各学校に眠っている楽器の種類と数を調査する。
6月	第2回会合	・設立前に「体験会」を開き、興味を喚起する方向で。 ・チラシ作成、三島、田方地区の全小学校へのチラシ配布。 ・三島市の広報誌等による募集。  ・借用した楽器の整備、修理を行う。 Tp・Cor 50, AHr 8, Trb 16, Euph 10, Tu 5, SD 1, MD 2
8月	第3回会合 体験会 開催 【中郷文化 プラザ】	金管楽器体験講座についての検討。 金管楽器体験講座「金管楽器を吹いてみよう!」開催。 ・小学生108人が参加。金管楽器を吹く体験をする。 ・各楽器にスタッフが付き、指導する。 ・ミニコンサート 金管五重奏「ライブ・ファイブ・ブラス」 ・伊豆ジュニアブラスへの入団の呼びかけ(入団申込書配布)
	第4回会合	伊豆ジュニアブラスの組織、方針、運営方法の検討。
9月	設立	伊豆ジュニアブラス設立説明会、第1回練習、楽器無償貸与。

#### 《設立できた要因として》

- 立ち上げメンバーに、議員、教員、楽器店が入っているので、その都度適切な対応をとることができた。
- 議員(スタッフ)の働きかけにより、行政の協力を得ることができた。
- 楽器店スタッフにより、楽器のメンテナンス、リペア等がすぐにできた。
- 地元の吹奏楽団員の中で協力的な人の参加を得ることができた。



#### 《活動テーマ》 「管楽器に親しみ、音楽を楽しもう!」

大人から子どもへ音楽の楽しさを伝える。(生涯教育を見据えた活動)

#### 《活動内容・組織》

- 活動は、月2回。基本的に第1・第3土曜日 午後(13:30~16:00)
- 個々に楽器を貸与。各自、家で個人練習。
- 練習後は、全員で会場の清掃を行っている。 ※団費...児童一人 月500円。

◇指導者(ボランティア)… 団長、監事、事務局、指導リーダー、指導スタッフ  
指導スタッフは、パートごとに数名。現在 約17人。

◇後援会(保護者)… 会長、庶務、会計、楽器管理、イベントスタッフ、会場管理  
駐車場係は、全団員の保護者が持ち回りで行っている。

◇団員(児童)… 三島・田方・駿東地区小学校の33校から参加。3~6年生。

#### 《活動の軌跡》

年度	月	活動内容、行事等	演奏曲目
2014	8	金管楽器体験講座	
	9	伊豆ジュニアブラス設立、第1回練習	リパブリック讃歌
		2 県東部小学校管楽器合奏フェスティバル 3 函南ふれあいコンサート、卒団式 ※「ピストルバルブ」と共演	ふるさと~富士山 オーラ・リー The Best House Gold
2015	5	大通り商店街まつり、花のまちフェア	富士山ファンファーレ
	8	三嶋夏祭り、金管楽器体験講座	ロッカーのテーマ
	10	楽寿の森芸術祭	アフリカンシンフォニー
2016	12	伊豆中央高校吹奏楽部 冬のコンサート	ディズニー・ワールド
	2	県東部小学校管楽器合奏フェスティバル	(ユニフォーム新調)
	3	函南ふれあいコンサート、卒団式	
2017	5	ディズニーシー15周年 SP バレード	ロマネスク
	6	ハッスルマッスル三島公演	愛を叫べ
	8	三嶋夏祭り、金管楽器体験講座	宇宙戦艦ヤマト 聖者の行進
2018	11	みしま音楽の日 オープニングアクト	
	12	伊豆中央高校吹奏楽部 冬のコンサート	
	1	県東部小学校管楽器合奏フェスティバル	
2017	5	金管楽器体験講座	HANABI
	8	静教研音楽部夏季研究大会 研究演奏	アフリカンシンフォニー
	8	三嶋大祭り	三島農兵節~ふじの山
2018	11	J A伊豆の国 J A祭り、みしま音楽の日	サウンドオブ
	2	J B F 東日本大会(横浜みなとみらい)	ミュージックメドレー
	3	県東部小学校管楽器合奏フェスティバル	
2018	8	三嶋大祭り	宝島
	10	三島フィルハーモニー管弦楽団演奏会	三島農兵節~ふじの山
	1	県東部小学校管楽器合奏フェスティバル	スイングメドレー

#### 《活動の成果》

- 活動を教育の場として捉え、地域のイベントにも積極的に出演し、認知されてきた。
- ソロをやりたいと、家で一生懸命練習する子もあり、他の子が刺激を受けている。
- 年々技術の向上が見られ、難しい曲にも挑戦するようになってきた。
- 保護者が、ペットボトルで消音器を自作するなど、とても協力的である。
- 卒団後は、ほとんどの子が中学校の吹奏楽部に入り、活躍している。
- 卒団した中・高校生も練習に顔を出し、パート別の指導に協力している。

# 地域の小学生バンドの事例集 (2)

## 赤穂市ジュニアバンド

主な指導者	長安健太 先生
団員数 (2022年現在)	18人 (小4~中3)
編成	吹奏楽
対象	小4~高3 (高校生は指導役を兼務するため 団費0円)
設立	2019年
活動地域	兵庫県赤穂市
練習場所	赤穂市立赤穂小学校
練習時間	月3回土曜15:00~17:00 (自主練習13:00~15:00)
主な費用 (月額、年額など)	入団時3,000円 月額2,000円 演奏会で別途集金
管楽器の 保管場所	赤穂小学校 木管は自分の楽器を使用しているため、 自宅に保管
大型楽器の 保管場所	赤穂小学校
送迎	校区内の小学生は自転車 校区外の小学生は保護者による送迎 中学生は送迎なし



開成ジュニアアンサンブル

# 地域の小学生バンドの事例集 (2)

## 赤穂市ジュニアバンド

### 成り立ち

金管バンドクラブがある小学校が10校中4校、吹奏楽部がある中学校が5校中2校とバラツキがあるので、赤穂市に住む子供たちが誰でも管楽器や合奏の楽しみを味わえるように、と関係機関や教育委員会のバックアップのもと発足。赤穂小学校を練習場所とし、同校の金管・打楽器を使用することが可能。木管は吹奏楽部所属メンバーは中学校の楽器を借用、それ以外は自分で用意。（令和4年7月現在、団所有のアルトサクスが1台あります）

### 課題に感じている点

- ・ **指導者の確保**。サクスやクラリネットなどのリード楽器を教えられる指導者がおらず、探している。また、指導者は月5,000円でやってもらっているため、ほぼボランティア。
- ・ **資金面**。市の補助金等がないため、いつまでたっても団所有の楽器が買えない。
- ・ 吹奏楽部や金管バンドがない学校の子も……ということだが、ない学校の児童、生徒にとっては普段目にしないので、「やってみたいな」「カッコいいな」と思う機会がなく、そういう学校からの入団希望者がほほいない。

# 地域の小学生バンドの事例集 (3)

## Y Bジュニアブラス infini

団体名	YBジュニアブラス infini
主な指導者	植木拓氏 先生
団員数 (2022年現在)	13人
編成	金管バンド
対象	小2～高1 (小1から募集している)
設立	2018年
活動地域	兵庫県養父市
練習場所	養父公民館
練習時間	火曜16:00～19:00 (中高生) 木曜16:00～19:00 (全体) 土曜13:30～16:00 (全体)
主な費用 (月額、年額など)	月額2,000円
管楽器の 保管場所	自治協倉庫、公民館倉庫、団員自宅 指導者自宅等
大型楽器の 保管場所	<b>公民館倉庫</b> (練習場所間の移動は指導者が主に行う)
送迎	主に保護者自家用車 ※木曜の小学生は下校時に徒歩数分の 自治協で練習のため徒歩



# 地域の小学生バンドの事例集 (3)

## Y Bジュニアブラス infini

成り立ち

児童減少に伴い、養父小学校の金管バンドから、市全域対象のバンドに移行。  
2021年秋より中高生の受け入れ開始。  
2022年に「養父金管バンド」から「YBジュニアブラス infini」に名称変更。

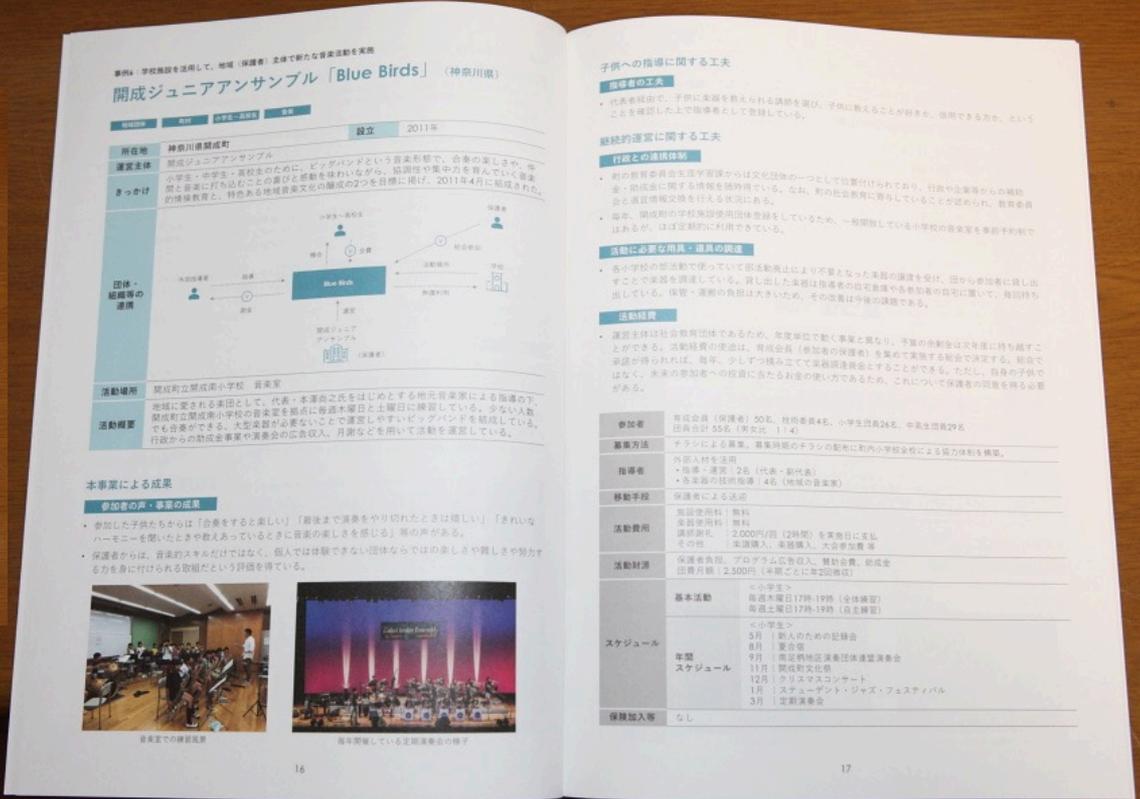
課題に感じている点

著しい少子化  
部活動の地域移行とのすり合わせ  
(現時点では具体的な話は出ていません)

# 6. 部活動の地域移行と社会教育

## 部活動と社会教育団体の比較表

	部活動	社会教育団体
練習場所	学校の音楽教室、普通教室等	公共施設等
練習時間	週5日以内（平日は1日、土日は1日休養日） 平日は1日2～3時間、土日は1日3～4時間など	週1～2日 平日は1日2時間、土日は1日3～4時間位 その他、家庭での自主練習
大型楽器の保管場所	部室、音楽教室、音楽準備室等	指導者の自宅、貸し倉庫、楽器運搬車など 施設の倉庫に保管してもらえるケースもある （青少年団体の場合このケースが望ましい）
管楽器の保管場所	部室、音楽準備室等	基本的に団員の自宅
送迎	通常は登下校と一体なので不要	場所と時間帯によっては安全のため保護者による送迎が必要 特に小学生の場合楽器が大きくて重いので送迎は必須
練習時の楽器運搬	児童生徒および教員が運搬 小学校では保護者が運搬するケースも	指導者や保護者が自家用車等で運搬 施設内は児童生徒が運搬
指導者	顧問（教員）、外部指導者	指導者、外部指導者
コンクール等	学校単位で出場	出場枠が学校単位のみコンクールには出られない 小学生団体なのに一般の部でコンクールに出場するケースも
楽器・楽譜購入費	学校予算、部活動費、保護者会費、顧問	団費、助成金（備品が対象となる助成金はまれ）、指導者



## 文化庁の事例集に掲載されました (2021年2月25日)

「地域文化倶楽部（仮称）の創設に向けた調査研究 事例集～部活動の地域移行促進のために～」に、当団が全国12のうちの1つの例（文化団体アウトリーチ等モデル）として掲載されました。2020年8～11月にヒヤリングを受けた結果をまとめていただいています。

開成ジュニアアンサンブル



## バンドジャーナル4月号に掲載されました (2022年3月10日)

月刊誌バンドジャーナル4月号（音楽之友社）の特集「部活動の地域移行への課題と未来を考える」に、開成ジュニアアンサンブルの取り組みについて寄稿しました。ここでは、大型楽器の保管場所についての提言も行いました。

開成ジュニアアンサンブル

# 社会教育へ移行する際の諸問題と提案 (1)

## どこで練習する？

多くの自治体では、社会教育団体登録をすれば**公共施設**での練習が可能になるが、学校の部活動のように大型打楽器や練習用機材の保管をしてくれないので、**楽器運搬車や多くの人の手が必須**となる。

当団のようなジャズバンドなら、ドラムセットとベースアンプ、ピアノがなければキーボードだけで済むが、**吹奏楽や金管バンド**であれば、**ティンパニ、シロフォン、グロッケンシュピール、バスドラム等の大型楽器を毎回運び入れなければならず、困難を伴う。**

 **やはり学校施設に落ち着くのではないか**

## いつ、どのくらい練習する？

働き方改革に関連して、部活動に休養日を設けるようになった学校が多いと思うが、社会教育団体はもともと**練習時間が週1~2日程度、1日2~4時間程度と限られている**ことが多い。部活動が日々の朝練で基礎力を上げている一方で、社会教育団体では、**各家庭での自主練習、あるいは両立する吹奏楽部での基礎練習に頼っている状態**である。

マンション等の住宅事情によっては、マウスピースのバズィング、フィンガリング確認、スライドの素振りなどしかできない団員も多い。

 **週2日以上は施設で思い切り音を出させたい**

# 社会教育へ移行する際の諸問題と提案 (2)

## どこに楽器を保管する？

社会教育団体では、学校のように部室等に大型楽器を保管することができないので、**指導者や関係者の自宅や貸し倉庫等に置かなければならない**（まれに、練習で利用する公共施設の倉庫に置かせてもらえるケースもある）

また、**児童生徒の使用楽器も毎回持ち帰ってもらう必要がある**。チューバやユーフォニアム、バリトンサクソ、バストロンボーン、ストリングベースなどの**比較的大きな楽器の児童生徒は、保護者の送迎が必須**となる。

当団の場合、活動場所である開成町立開成南小学校の一般開放エリアが明確に分かれていて、夜間・休日はシャッターも閉まるし管理人も常駐する。ただし、音楽準備室が利用できないので、ピアノ・机・椅子等以外の備品は一切使用できない。そのため、**楽器や機材を練習ごとに運び入れている**。最初はそのことを煩わしく感じていたが、結果としては責任の所在が明確になるメリットがあると考えられる。



**大型打楽器などが必要な吹奏楽・オーケストラ等に関しては、まず、授業と地域部活動で使う備品を徹底的に区別し、空き教室や学校敷地内の倉庫等に活動用の備品を保管・施錠し、放課後・休日の活動時間のみ、音楽室等に運び出して使用する、という方法を提案したい。**

# 社会教育へ移行する際の諸問題と提案 (3)

## コンクールは参加できる？

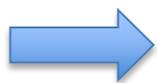
コンクールやコンテストへは学校単位でしか参加できない場合が多い。吹奏楽連盟の場合、小学校では地域差が大きいし、高校は学校による差が大きい。中学校は比較的うまくいっているから全体として変えづらくなっているのかも知れない。そのため、小学生のみのバンドなのに一般の部でコンクールに出場するケースもある。



**地域団体と学校とが対等に参加できる規定が望ましい**  
(マーチング、軟式野球、サッカーのように)

## お金はどうやって集める？

学校の部活動であっても、十分な予算が確保されるわけではないと思うが、社会教育団体の場合、通常は公費の補助がないため、団員から集金した**団費**や、演奏会プログラムの**広告費**が主な財源となる。



1. **地域で応援してくださる方から賛助会費を集める** (年間20~30万円)
2. **助成金 (補助金) を活用する** (年間20~30万円)

当団は、事業の開催費を支援する神奈川県文化芸術活動団体事業補助金や、さがみ信用金庫地域文化芸術振興基金の助成制度に毎年応募し、助成金をいただいている。

**※助成金の存在は、団体の企画力を上げ、より質の高い公演の実現につながる。**

# 社会教育へ移行する際の諸問題と提案 (4)

## 続けていくことが大切

1. 施設を**恒常的に**利用できること
2. **複数の**指導者を配置すること

などにより、活動の継続性を担保しなければならない。当団の場合は、認知度が上がった結果、施設の閉鎖等がある時に教育委員会から個別に相談をいただくなど、良い関係性が構築されていると感じている。

また、指導者としては、**今後10~20年くらい経過して後継者がいそうだったら、引き渡す覚悟を持っている**。しかも金管バンド・吹奏楽・マーチング等、その方が得意とする他ジャンルに移行しても良い。

## 指導者の質を維持すべき

1. **常に勉強している人**に指導してもらうべき
2. **しっかりした報酬の規定**を作るべき

しかしながら、当団の技術委員の場合、プロの方には1回あたり2,000円を支給、プロでない方には交通費のみを支給している程度なのが現状で、今年度これを**部活動指導員レベルに改善**することを検討している。

また、**不祥事を防ぐ仕組み**が必要で、部活動ガイドラインに倣い、生徒と指導者の適切な距離感を保つため、**生徒と直接Line等で連絡を取ることを原則禁止にした**。

(2021年5月から)

# 社会教育へ移行する際の諸問題と提案 (5)

## SNS等で積極的な情報発信を！

小学生バンドの例として挙げた3つの団体は、いずれもFacebook、Instagramなどに積極的な活動報告を行っている。

当団も例に漏れず、上記のほか、Twitterでも情報発信している。また、ホームページでは、ここで述べているような社会教育化に関する情報をはじめ、規約・決算報告などあらゆる情報をオープンにしている。



1. 入団希望者や音楽ファンなどからアクセスしやすくなり、**親しみやすいバンド**となる
2. 地域のイベントへの**演奏依頼**、メディア等への**出演依頼**が来やすくなる
3. 同様の活動を目指す（または新規に立ち上げようとする）**他団体の参考**になる

# 社会教育へ移行する際の諸問題と提案（まとめ）

## どこで練習する？

やはり学校施設に落ち着くのではないか

## いつ、どのくらい練習する？

週2日以上、施設で思い切り音を出させたい

## どこに楽器を保管する？

授業と地域部活動で使う備品を区別し、学校敷地内の倉庫等に保管するのが望ましい

## コンクールは参加できる？

地域団体と学校とが対等に参加できる規定が望ましい

## お金はどうやって集める？

1. 地域で応援する方から**賛助会費**を集める
2. **助成金（補助金）**を活用する

※助成金の存在は、団体の企画力を上げ、より質の高い公演の実現につながる。

## 続けていくことが大切

1. 施設を**恒常的に**利用できること
2. **複数の**指導者を配置すること

## 指導者の質を維持すべき

1. **常に勉強している人**に指導してもらうべき
2. **しっかりした報酬の規定**を作るべき

## SNS等で積極的な情報発信を！

1. **親しみやすいバンド**となる
2. **演奏依頼、出演依頼**が来やすくなる
3. 同様の活動を目指す**他団体の参考**になる



開成ジュニアアンサンブル

# 7. 開成ジュニアアンサンブルのこれから

生涯学習の一環として「**大人のための  
ジャズアンサンブル**」を立ち上げる

※町の生涯学習講座として7月3日に立ち上げたばかり。22名で活動開始。 

青少年音楽系社会教育団体の成功事例として、その**普及向上に務める**

アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ、アジア等、**海外遠征**（交流・公演）を行うことが夢



開成ジュニアアンサンブル